

# OHK杯新人大会における感染防止対策

岡山県小学生バレーボール連盟

『主催者、参加者、全員協力して大会を成功させよう！』

※感染者が出たチームは棄権とする。

## 《主催者》

### 1 消毒剤等の準備

- ①会場入り口、アリーナ入り口、トイレには、アルコール等の手指消毒剤を用意する。
- ②会場内のドアノブ、テーブル、イス、ロッカーの取手等、参加者が触れると考えられる箇所のこまめな消毒をする。(ベンチ、応援席、トイレはチームの協力を得る。)
- ③試合間には、ボール、審判台、得点板、記録席の消毒をする。(ボールはセット間も)

### 2 換気の悪い密閉空間とならない環境作り

- ①換気扇は常に回し、プレーに支障がない限り、窓及びカーテンは開けておく。
- ②更衣室の使用にあたっては、一度に大勢が入室することがないように密集回避を促す。

### 3 参加者の制限

- ①入場は役員、大会関係者、ベンチ入り選手、ベンチスタッフ、帯同審判員、応援団（一家庭一人）に制限する。
- ②参加者名簿、個人健康調査票の提出を義務付ける。
- ③入場者（大人）には名札（チーム名と氏名を記入）を常時身につけさせる。

### 4 当日の運営

- ①コート設営終了後、速やかに器具等消毒をする。
- ②タイムテーブル、入館可能時刻に従いチームを入場させ、会場内の密を避ける。  
常に、試合をするチームと補助員チームのみ入場している状態とする。入館までは、車内で待機する。
- ③受付、入場時の対応
  - ・入場は担当役員に1チームずつ名札、人数等の確認を受けてから行う。
  - ・受付は、対面しない方法で行う。
  - ・各チームがあらかじめ用意した参加者名簿と個別健康調査票を受理する。
  - ・再入場時には名前をチェックする。入り口には常時、担当者を配置する。
- ④試合前後の挨拶
  - ・エンドライン後方に密にならないよう整列し、その場で挨拶をする。  
(両手間隔で前後2列)
- ⑤応援席等の管理
  - ・応援席が密にならないようあらかじめ観客席の数を減らす。(座れない席の表示)
  - ・定期的に会場内を巡回して、感染防止対策がきちんととられているか確認する。  
(3密、マスク着用、応援の仕方、手指消毒実施など)
- ⑥密にならないベンチ設営等
  - ・ベンチのイスの間隔は約2メートルとする。

ベンチのイスは3脚とし、控え選手はウォームアップエリアで待機する。ウォームアップエリアは横に長く設営する。また、エリア内に個別に用意した水筒とタオル、マスクを入れた袋またはカゴを置く。

#### ⑦開会式・閉会式

・開会式、閉会式を行う場合は密を避けた位置取りで行う。

#### 《参加者》

#### 1 受付時、参加者名簿と個別健康調査票を提出

(どちらもベンチ入り選手、ベンチスタッフ、帯同審判員、応援団全員分)

#### 2 マスクを着用、名札をつけることを徹底

①プレー以外の場面ではマスクを着用する。ただし、息苦しくなった場合は外して良い。

②名札はチーム名と名前を記入し、常時身につける。

#### 3 こまめな手洗い、手指消毒

#### 4 3密回避

①応援は隣との距離(できるだけ2メートル)を確保すること。また、大きな声で応援しないこと。

②勝ち残って次の試合まで待機している場合や補助員チームで待機している場合は、指定された待機場所を使用し、密集・密接を避け、大きな声で話をしない。

③試合前後のミーティングも3密を避ける。

#### 5 ベンチスタッフ

①試合中、マスクをし、大きな声で指導しない。

②タイムアウトやセット間での指導者の話は、身体的な距離を保つ。

③セット終了後、ベンチのイスを消毒する。

#### 6 使用した施設の消毒(応援団の協力)

①使用した応援席のイスや手すりは、試合が終了して、次のチームと入れ替わる前に持参した消毒剤で消毒をする。

②試合終了後、両チームでトイレの消毒をする。(ドアノブ、手洗い場、便器レバー、プッシュボタン等) チーム準備した消毒剤で、会場トイレに掲示されたマニュアルに従い行う。

#### 7 大会当日に持参するもの

①参加者名簿、健康調査票、マスク、名札

②消毒用品

③記録用筆記用具

④審判用電子ホイッスル

#### 8 感染防止策の遵守

①主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従う。

②大会中、体調が悪くなった者は直ちに帰宅する。

③大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルスに感染した場合は、主催者(県小連総務委員長)に速やかに報告する。